平成27年度文部科学省委託事業中学校歯科保健指導者実践発表会

家庭科

平成27年1月28日(木)

1 食生活と栄養 1 食事の役割を考えよう② ~噛むことの効果と健康によい食習慣~

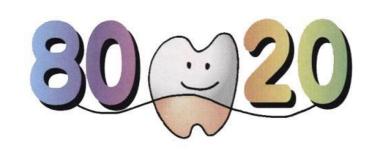


能美市立根上中学校 金沢市立森本中学校 中能登町立中能登中学校 珠洲市立大谷中学校

教諭 朝倉 京子 教諭 談議所 幸恵 教諭 田中 良子 教諭 友延 恵美子

発表内容

- 1. 学習指導案の作成
- 2. アンケートの結果から
- 3. 資料について
- 4. 授業実践
- 5. 成果と課題



1 学習指導案の作成1

中学生における歯と口の健康課題

- ●咀嚼と体の働きや健康とのかかわりの理解
 - ・歯周病の原因と生活習慣の改善方法の理解と実践
 - ・第二大臼歯及び歯の隣接面のむし歯の予防方法の理解
 - ・歯周病や口臭の原因と予防等に関する理解
 - ・自分に合った歯・口の清掃方法の確立
 - ・健康によい食事や間食の習慣、生活リズムの確立
 - ・運動やスポーツでの外傷の予防の意義・方法の理解



中学校技術・家庭科で取り組むことができる課題を選択

- (1)小題目名 かむことの効果と健康によい食習慣
- (2)本時のねらい かむことの効果について知り、健康によい食習慣について工夫する。

1 学習指導案の作成2

導入

- 1 前時の振り返り
- 3 学習課題の確認

展開



4 かむことの効果



5 よくかむ食習慣を 身につけるための工夫

まとめ



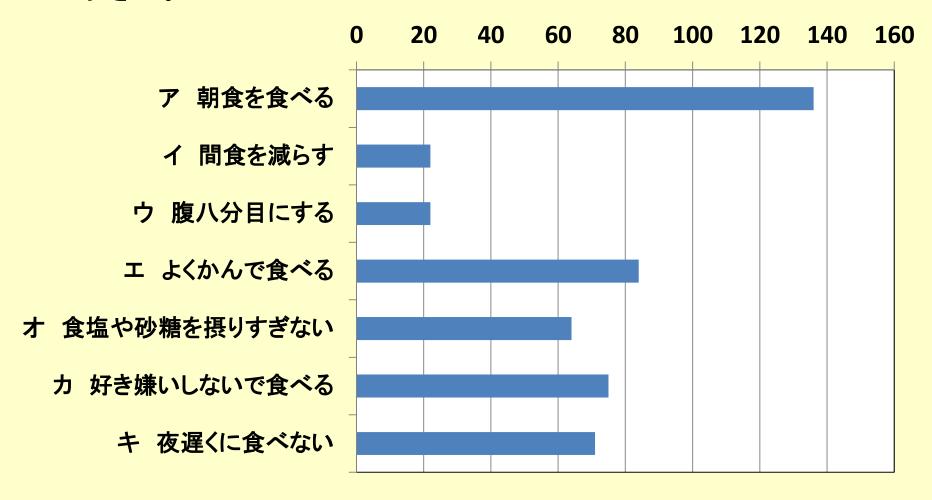
6 学習のまとめ

- 2 フランスパンを食べる
- 4 発表内容を整理
- あごとからだ全体の働き
- 胃腸での消 める
- 何でも食べ予防
- ・脳への活針・
- ・ 唾液の効果・
- ダイエット交・

- 5·6 よくかんで食べるため の工夫(まとめ)
- かみごたえのある食品
- ゆっくり食べる
- ・ かむことを意識する
- 飲み物で流し込まない
- 一口を小さく
- ・ 食材は大きめに切る

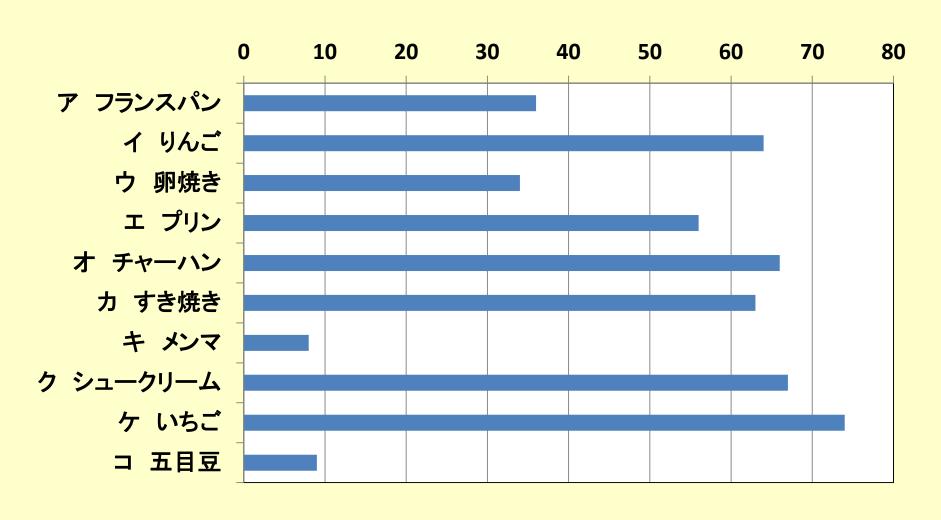
2 食習慣についてのアンケート①

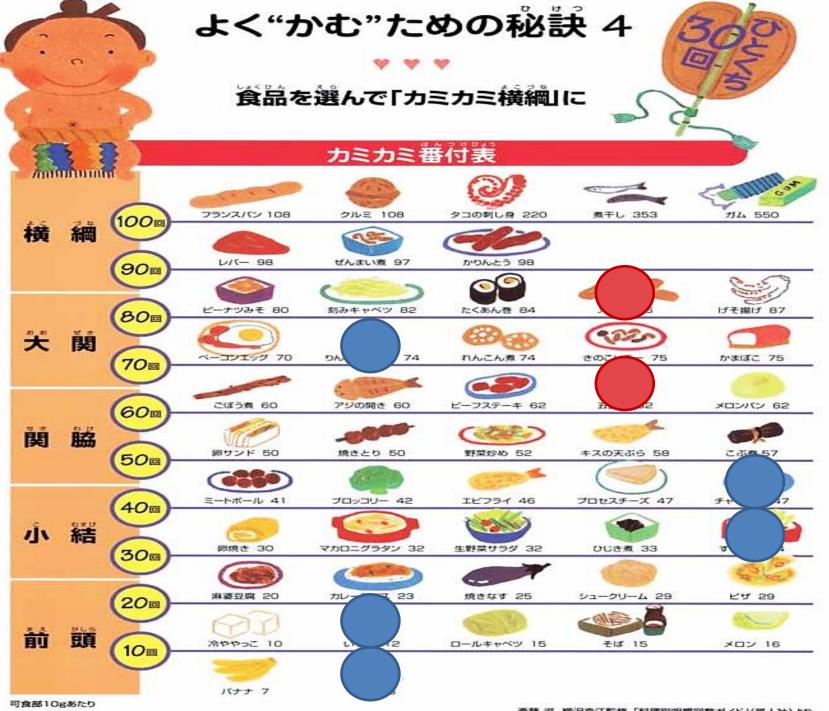
★日頃から特に大切だと思っていることをしたから3つ選んで下さい。



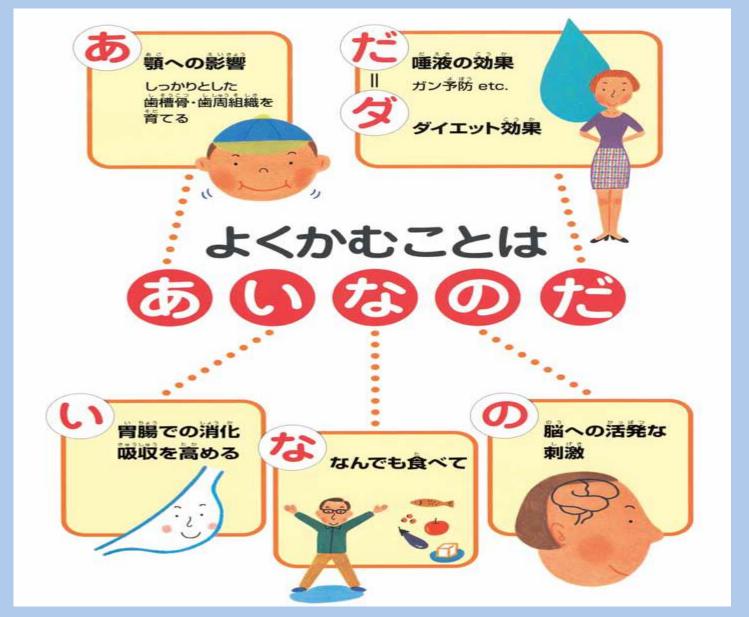
2 食習慣についてのアンケート②

★次の食品の中で、好きなものを3つ書いて下さい。



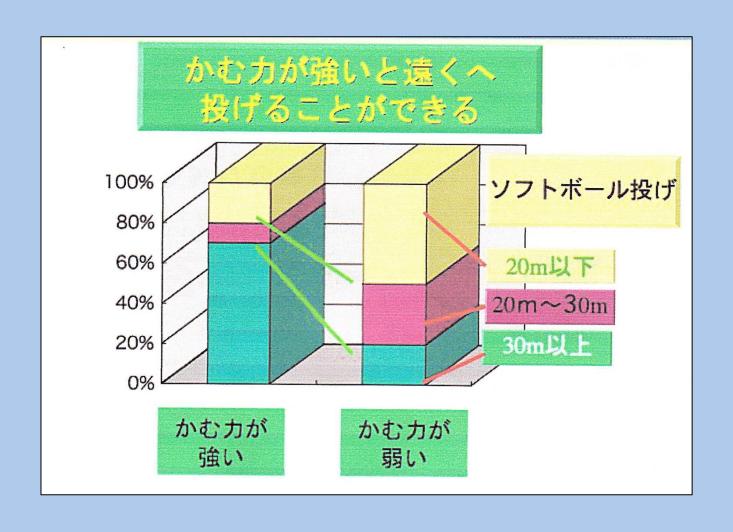


3 資料について



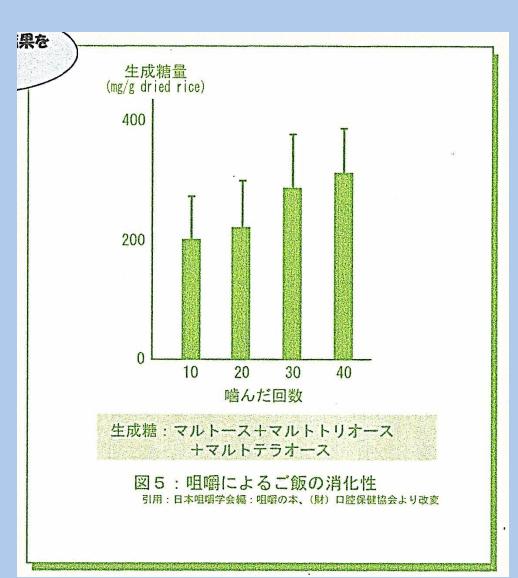
(<u>\$</u>)

あごと体全体の発達





胃腸での消化吸収を助ける



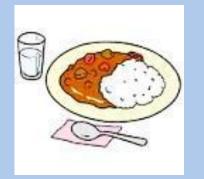


何でも食べて生活習慣病予防

(主食) 白米 41 食パン 62 フランスパン 108 そば 15 ピザ 29 カレーライス 23

(おかず) ハンバーグ 36 コロッケ 25 ロールキャベツ 15 餃子 36 さんま塩焼き 60 イカリング揚げ 76 さつまいも天ぷら 61 焼き鳥 50

(お菓子・デザート) プリン 8 ケーキ 20 バナナ 7 かりんとう 98 りんご皮付き 74 せんべい 162





脳の活性化

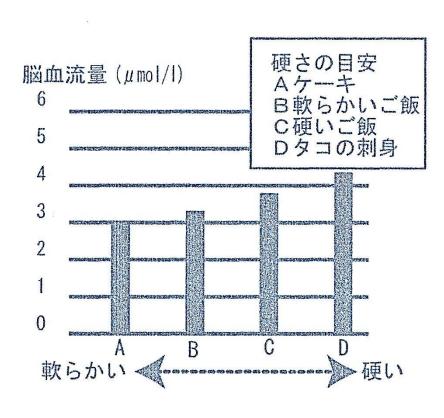
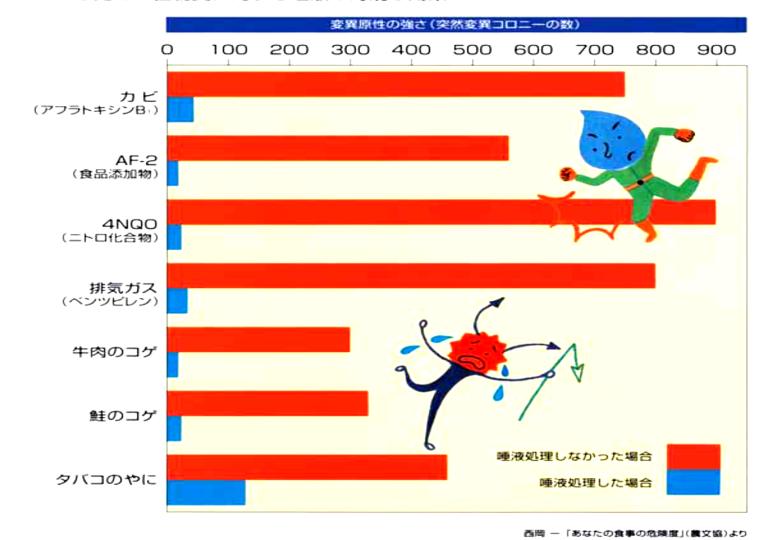


図6:硬さの異なるグミゼリーを噛んだときの脳血流量

引用: J. Dent. Res. 85 Special IssueB: 404, 2006 より改変



●発ガン性物質に対する唾液の毒消し効果





唾液の効果 イ

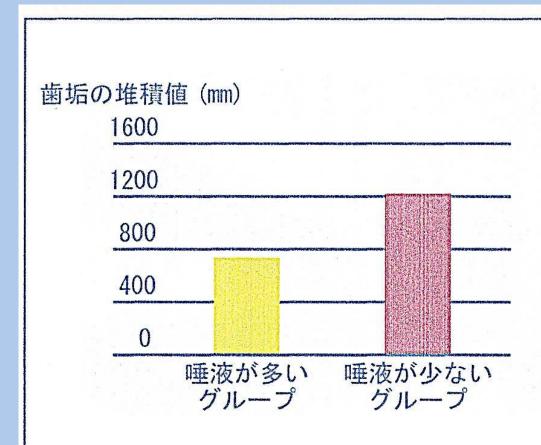


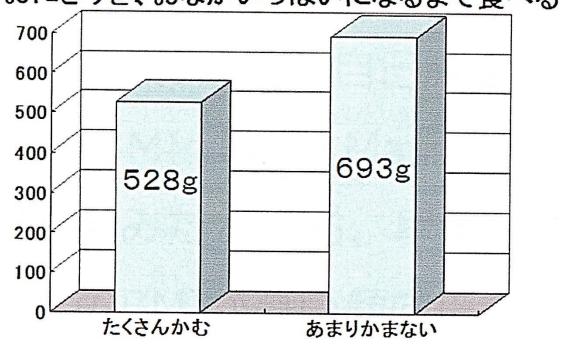
図4: 唾液量による歯垢の蓄積値

引用:日本歯科保存学雑誌;38、6、1995より改変



かむ回数とおなかいっぱい感

おにぎりを、おなかいっぱいになるまで食べる



4 授業実践 学習指導案1~3

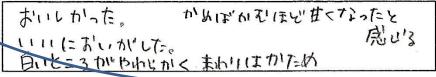
1食生活と栄養 1食事の役割を考えよう②

かむことの効果と健康によい食習慣

※本時の課題よくかんで食べるにはとめょうな工夫をすれたりないてごろう

- 1. フランスパンを食べてみよう。
- ① 何回かみましたか。
- ② 気づいたことを書こう。





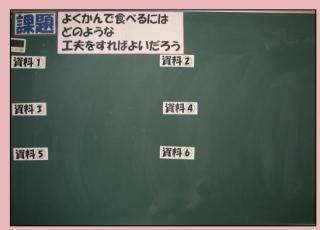


	かん! ロヤツらぬいと	にていん いしょし
	資料① 技げるからではくなる	資料② 消化かずくなる
	かかから強いと遠くまで、投げられる・	(進え)
3	資料③やからかいものはあまりかんで	資料中心血流量が増える
	(かなの数がめい)	たったかなし (上がいる)
	資料⑤ア発かって青海にできる	資料の月で満またといっとかいでかまる
	「歯垢がないと」	たくさんかなと



4 授業実践 学習指導案4

2. 資料からどんなことがわかるだろう。 たてさんカレンはと かなけから強いと 資料の 枝けずかが強くなる 資料②消化かり早くかる。 かむけが強いを底くまで 投けいられる・ 資料③かからかりまるはあまりかんで 資料中的近近流量が"增える (1/21) (かたいものはかいのい) でをかけるかいとき (上かいる) 資料の月で満ま防ぐいニとかじてかする 一大はなかけたまりにくい たくさんかれと 食かる量かいかて かむことの効果をまとめよう。 4. よくかむ食習慣を身につけるために、どのような工 夫ができるかな? あごと体の全体が使か のでは3付けかたいものを食べる。 たくさんかも 僧陽型の消化、吸収を翻る のかで回数を数える のまわけにかたい食べ物をおく txxz性介"z生活習慣流 の生のものをたくさんたべる。 吉いりうス 話し合いから(他の班の発表から・・・赤で) 旧公に刺激を与える 走山土 食べる時間をのける(時間をかけてもっくい食べる) のなんでいもならき焼いの日の中に下ってとんかれない ロ垂液の対果 せずい食いいる. 果なるの問題をでかり、 のけんこうを動するの飲み物ではしますかり の30回以上と意識な、の食料を大きく切る











4 授業実践 学習指導案5

- 3. かむことの効果をまとめよう。
- あかまごと体の全体の値かき
- (1) 胃腸での消化、吸収を診る
- たかける心は境かって生活習慣病
- の胸心に刺激を与える
- 和)唾液的效果
 - (アリケルエット交の果

4. よくかむ食習慣を身につけるために、どのような工 夫ができるかな?

自分の考え。できるだけかたいものを食べる

- のかで回数を数える
- のまかけまかけまけ食が物をおく
- 0生のものをたくさんたべる.

話し合いから(他の班の発表から・・・赤で)

でで食がる。食べる時間ものはずくは時間をかけてゆっくい食べるう たまれていたないまはは、「口の中にできてんみれない でで食がる。食べる時間の石を代果

?30回以上之意識な、の食料を大きくなるのかしずい含から

5. 自分の食習慣を振り返り、継続したいことや改善したいことを書こう。

自分は生物でかたい特別を好きたのはよかったければ、好きは確いしないことや食べる時間の確保、たくてんかだことがあまりできてないのでとこさ
こ次善したいです。

青いりうス

7

a

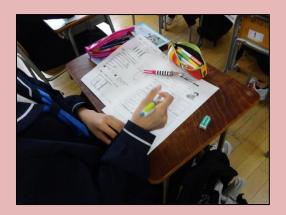
○ よくかむ食習慣を身につけるための工夫

自分の考え

- できるだけ固い物を食べる
- たくさんかむ
- かむ回数を数える
- 周りに固い食べ物を置く

話し合いから (赤字は他の班の発表から)

- 食べる時間を伸ばす
- たくさんかむことを意識する
- 時間をかけてゆっくり食べる (食べる時間の確保)
- 何でも好き嫌いせずに食べる
- 健康を意識する
- ・ 30回以上かむことを意識する
- 少しずつ食べる (口の中にたくさん入れない)
- ・ 飲み物で流し込まない
- 食材を大きく切る





4 授業実践 学習指導案6

3. かむことの効果をまとめよう。 4. よくかむ食習慣を身につけるために、どのような工 夫ができるかな? なごと体の全体が値かき のできるだけかたいものを食べる。たくさんかも)胃腸での消化、吸収を診りる のまかけまかではない物をおく 大いtwo"埃介"で生活習慣流 の生のものを下くさんたべる. 吉いかうス 話し合いから(他の班の発表から・・・赤で) 旧当に刺激を与える 北川市 食べる時間をのばら、時間をかけてゆっくい食べる のなんででなるは嫌いの日の中に下cさん人れたいい せず冷かる。 食から日本日の、下たくり 一種液の効果 我们的問題を行 こしてんこうを発記する の飲み料かできなしこますない カツイエット交内里 の30回以上を長識な、の食料を大きと切る のけんずつ食べる 5. 自分の食習慣を振り返り、継続したいことや改善したいことを書こう。 自分は生物でかたいけかかい割と女子きなかはよかったけんど、好きな新いしないこと 食べる時間の確保、たくてんかなことがあまりできてないのだとこさ 改善はいです。

○ 自分の食習慣を振り返り、継続したいことや改善したいことを書こう

あいなのだ という言葉を覚えられるように頑張ります。自分はかむことが少ない時もあるので、 かむことを多くすることを心がけます。

自分は固い物が割と好きなのはよかったけれ ど、好き嫌いしないことや食べる時間の確保、たく さんかむことができていないので、そこを改善した いです。

私はゆっくり食べるのが好きなので、ゆっくりしている間にたくさん食べ物をかむように意識しようと思った。よくお茶で食べ物を流しているので口がからになってから、お茶を飲むようにしたいと思いました。

最近かむことに対して、 意識し始めてゆっくり食べ たり30回はかむようにして いる、それを続けていきた いし、朝とか時間なくて速く 食べちゃうことが多いから、 少し早く起きて時間を確保 していきたい。なるべく固い 物も食べていきたい。

自分は、あまりかんでいないことがわかったので、これからはしっかりかもうと思います。かむことは、そこまで大手じゃないと思があまったが、ダイエット効果があるとか、いろいろなことが分かったのでびっくりしました。

5 成果と課題

成果

- ・グラフ等の資料を準備し生徒が自ら学べるように工夫したことから、噛むこと の効果を実感することができたと考えられる。まとめの文章からも、噛むことの 効果がたくさんあることに驚いたと書いている生徒が多かった。
- ・よく噛む習慣を身に付けるための工夫を考えることで、噛むことの効果を理解 するだけでなく、自分の食習慣を見直し改善する意欲を高めることができた。
- 家庭科の授業づくりを通して、私たち教師が、噛むことが歯と口の健康だけでなく、体全体や心にまで影響を与えていることを理解し、生徒に学ばせたいと強く思うようになった。

課題

- ・噛むことの効果とよく噛む食習慣の工夫, どちらも生徒の食習慣の振り返りと 改善への意欲の向上のためには必要だと考えられるが, 50分の授業の中で は十分な話し合いやまとめの時間がとれない。再検討が必要である。
- ・フランスパンの試食は、導入として効果的であるが、衛生面での配慮が必要である。